

シルバー弁護士の

独り言



弁護士 田中 秀雄

●シルバー弁護士の独り言

私は前の事務所に所属していた頃から、時折「シルバー弁護士の独り言」という駄文を書いて、これまでに3回寄稿した。事務所ニュース刊行を期に久々に書こうと思う。

●特定秘密保護法

マスクミも知識人も大反対し、各地で法案反対のデモが連日繰り広げられているにもかかわらず、昨年12月安倍内閣はとうとう特定秘密保護法案を強行採決してしまった。秘密を決めるのは官僚と政府で、国民の知る権利は侵害されます。自公政権を選択したのは国民であり、自公が衆参両議院の過半数を取っているのですから仕方のないこととはいえこの暴挙のツケは大きい。安倍は祖父の岸信介の果たせなかった「戦争への道」を歩もうとしているのだろうか。これからのことを思うと夜も寝られない(と言いながら、寝付きがいいので、寝床につくとボタンキューの毎日です)。

●親子鷹

長い間共同事務所にいたので独立も無いと思っていたし、ましてまさか親子で法律事務所をやることになるとは思っていなかった。ひょんなことで親子でやることになったが、実際やってみると、案ずるより産むが易しであって、思っていた以上にお互いに気は遣わないし、楽しくやれている(と思う)。38年の弁護士経験は伊達ではないのですべてをさらけ出すつもりである。そして、私の良いところは学び、悪いところは反面教師にして、

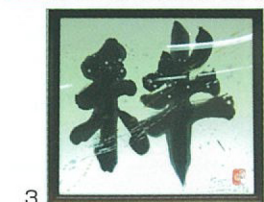
他の頑張っている弁護士の生き様からも沢山吸収して、いつの日にか、依頼者に寄り添い、依頼者に心から頼りにされ、そしていつも弱者の側に立つ弁護士に育ってほしいと思っている。

●ジャイアンツ

新事務所を設立して多忙なので、去年は巨人ファンを封印するつもりだった。ところが、巨人はシーズン当初から快調に突っ走り、ぶっちぎりでセ・リーグ優勝を決めてしまった。そうなると、封印は解かざるを得ない。お陰で去年はおいしい酒が沢山呑めた。日本シリーズでは楽天に負けたが、あれはお祭りだから負けても悔しくはなかった。今年は封印などせず、巨人に頑張ってもらって活力にするつもりである。

●交通事故事件

私は離婚事件と並んで交通事故事件が多い。一時期保険会社側で担当していたので沢山の事件を経験したので得意分野ということもある。私が交通事故の損害賠償事件にはなるべく弁護士が関与すべきと思うのは、損害保険の賠償基準には、自賠責基準と任意保険基準と裁判基準と3ランクあって、保険会社は被害者本人が交渉しても裁判基準では絶対に支払わないからである。大きな後遺障害が残ったケースや死亡事故のようなケースは弁護士がつくとつかないのでは何千万円も補償額が違ってくることがある。むち打ちのようなケースは被害者本人だけで治療が終わっていないのに、保険会社は早く打ち切れと執拗に言ってくる。そうしたケースは弁護士がつけば被害者の防波堤になれる。新事務所を立ち上げてホームページで宣伝もしているので、少しずつ保険会社と闘おうとする依頼者が増えてきている。うれしいことである。



1 事務所からの風景(真下に湊川神社と神戸地方裁判所)
2 相談室 3 書「絆」(依頼者の方贈呈)
4 待合室 5 相談風景